

2022～2024

**3年間実施計画で実現!!**



**高齢者タクシー券**

**緑町公園**

**18歳まで入院費無料**

**地域交通協議会**



2019年市会議員選挙の公約。病院、バス、18歳まで医療費、コロナなど掲げています。

**市議選の公約、次々実現**

1月25日、議会全員協議会で2022～2024年までの3年間実施計画が報告されました。

行政は、10カ年の総合計画を3年ごとに財政計画をつくりローリング（1年ごとに回していく）し、施策を推進します。

日本共産党は2020年4月の市議会議員選挙で掲げた公約実現のために毎回の一般質問、予算決算審査、議案審査、補正予算審査とあらゆる機会に実現を求めてきました。

**市民病院8億円でリニューアル**

実施計画には、市民病院のリニューアル8億円も盛り込まれています。3人室へのトイレ設置など今後の課題も抱えています。設計図を情報公開で取り寄せ指摘した個室増、感染対策など活かされました。

高齢者タクシー券、シアターサウスの洋式トイレ化など下に書ききれないことも入っています。ぶれずに、今後も公約実現に全力あげます。

**18歳まで入院費無料化**

2022年10月～ 10月から実施。

2022年/342.2万円 2023年～628万円



**高齢者タクシー券**

2022年10月～

対象＝65歳以上、非課税者、要介護支援以上

枚数＝年間24枚×700円/枚

予算＝2022年/580.1万円

2023年/1129.9万円

2024年/1149.3万円



**三世代住宅建設促進**

2022年～年間1100万円

対象＝三世代住宅建設・上限40万円補助×10戸

三世代住宅リニューアル上限20万円×50戸

三世帯近居建設（市内に）上限10万円×10戸、

新築住宅補助40万円上限だが固定資産税の0.7%で庶民住宅では10万円程の補助。日本共産党はこれらの制度の再編成で再エネ・省エネ促進補助の拡充を要求。

**照明LED化**

2023年 800万円 7階大会議室など議会室

道路照明灯2022年900万円 1491基の台帳化。

リースで、LEDに更新



**地域公共交通計画策定**

くるくるバス拡充の第一歩

1時間ごと。電気バス。5台に増車。

ポートピア経由し久沓町へも行ってね!

2022年792.1万円 2023年/383.6万円

●オレンジバス更新 2022年

●パープルバス更新 2023年

●バス停標識修繕



**緑町公園**

2022. 2023年

2022年緑町公園設計1018.6万円

2023年緑町公園工事4983.8万円

何度も先送り。緑化基金3億円を活用せよと早期実現に共産党尽力。

**西荒居公園**

2024年2980.4万円完成へ。



# 薬局コロナ検査2月まで延長

愛知県は25日、薬局などの無料コロナ検査を2月末まで1カ月の期間延長を発表しました。日本共産党は、サンデー版前号でも、期間延長を求めてきました。

# 碧南2カ所拡大ハロー！きずな

薬局は、現在302カ所に拡大。碧南市内では、今までのスギ薬局大浜店、雨池店に加えて

●ハロー薬局（二本木町2・51・3）2月7日～  
電話43-1186

●きずな薬局（栄町2・67）2月1日～

の2店舗でPCR検査、抗原検査が行えます。消防署員、保育士、教員、介護士などのエッセンシャルワーカーの3回目ワクチン接種を急ぐことなど、日本共産党は改めてコロナ対策の申し入れを1月27日に市長に対して要望書を提出しました。

# コロナ対策についての要望書

日本共産党碧南市委員会

1月25日現在碧南市で51人もの新たな感染者となつています。保育園や学校でも休園や休級が出ており市民に不安が広がっています。

オミクロン株は、驚異的な感染力の強さとなっております。以下の点で緊急対策を求めます。

1、エッセンシャルワーカー（消防、介護、保育、教育など）に3回目のワクチン接種を集団接種会場なども特設し急ぐこと。各職場の接種率を把握すること。

2、保育園、休級などでの子どもの居場所を確保すること。

3、分散登校、登園。オンライン活用を急ぐこと。

4、ワクチン、検査キットの確保を国県に求めること。

## 気候危機打開へ緊急

2030年まであと8年

さよなら原発・石炭火力発電所

# 再生エネ・省エネへの道



JERA 青森石炭火力発電所

## 2月26日(土)

午後2時～4時 参加費：無料

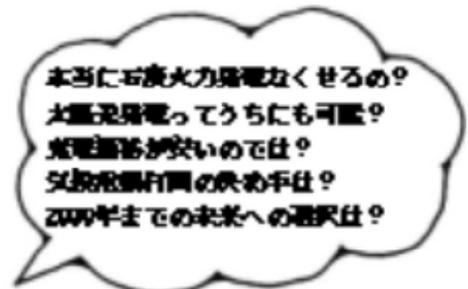
### 場所：碧南市役所レストラン2階

(碧南市松本町2-8・電話 0566-41-3311)

2021年11月のCOP26では45カ国が石炭火力発電所の新設中止や廃止を求める「宣言」に賛同しました。一方、日本政府は「化石賞」の汚名を。石炭の未来を守るためにも2030年までの温暖化防止対策が地球を守る緊急課題です。みんなで学び国策に求めることや、市民でできることを進めましょう。ぜひこの機会にご参加ください。

### お話しします

- 大野克良 NPO愛知地域資源ネットワーク理事  
あひさま自然エネルギー振興役  
愛知金融革新懇事務室長
- 山口はるみ 日本共産党碧南市議会議員  
「気候危機打開2030戦略」  
青森石炭火力発電所の現状
- 公共施設屋根貸し太陽光発電などの業者  
太陽光発電の現状
- 自由発言 事前に資料などあったらご連絡ください



本当に石炭火力発電なくせるの？  
太陽光発電ってうちにも可能？  
発電量が安いのは？  
気候危機打開の決め手は？  
2030年までの未来への選択は？

主催：温暖化から地球を守る会 連絡「アトムの会」 連絡先 磯貝明彦 碧南市松本町3-253 電話 0566-7887-0834

## 日本共産党碧南市委員会



市議会議員  
山口はるみ  
☎42-8940  
三度山町2-70-4



市議会議員  
岡本守正  
☎41-5357  
笹山町6-29



市民運動部長  
磯貝明彦  
☎48-2718  
若松町3-253

## 戦争法廃止 改憲許すな19行動

2月19日(土曜日)  
午前11時～12時  
ピアゴ東浦店  
東浦町6-17



日本共産党碧南市議会議員団のホームページをご覧ください。

## 新しい日本をつくる五つの提案

- 新自由主義から転換し格差を正し暮らし家計応援第一の政治
- 憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する
- 権主義への従属・屈服外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換
- 地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる
- ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切にし個人の尊厳を尊重する政治